



承認図

音声応答転送装置 IVR-2430II

本仕様はデータ入力ソフト Ver.2.00 以降に準じています。



仕様書

音声応答転送装置 IVR-2430II

本仕様はデータ入力ソフト Ver.2.00 以降に準じています。

商品概要

本装置は、アナログ一般回線とPBXの間、またはPBXのアナログ内線に接続して使用します。

(1)アナログ一般回線とPBXの間に接続した場合

- ①PBXがダイヤルイン機能対応のときは、指定したPBXの内線への転送
- ②NTTボイスワープ機能を利用した外線への転送
- ③応答専用機能

の3種類の機能を持っています。

また、これらの機能を自動的に切り替えるプログラムタイマーを持っています。

(2)PBXのアナログ内線に接続した場合

- ①フッキング転送によりPBXの別内線への転送
- ②応答専用機能

の2種類の機能を持っています。

また、これらの機能を自動的に切り替えるプログラムタイマーを持っています。

本装置で使用する応答メッセージは、本装置で録音して作成する以外に、音声合成機能(データ入力ソフト)により、PC上でテキスト入力した内容を音声変換して作成することができます。

主な機能

動作モード

本装置には次の7種類の動作モードがあります。

(1) 選択転送モード

- ① ベル信号に応答するとメッセージを流します。最初に「挨拶メッセージ」つづいて「総合案内メッセージ」が流れます。これらのメッセージで社名などの案内をします。
- ② つづいて、転送先を案内する「選択転送メッセージ」が流れます。
- ③ 発呼者は、このメッセージの情報から転送先の番号を知り、PB信号で番号を入力します。
- ④ 入力された信号を基に、本装置は疑似ダイヤルイン信号(またはフッキング動作による内線信号)を作り、PBXに出力します。
- ⑤ 転送先が話中や不在時は最大3箇所まで追っかけて転送ができます。(追っかけ転送機能)

(2) ツリー転送モード

- ① ベル信号に応答すると「選択転送モード」と同様に、「挨拶メッセージ」、「総合案内メッセージ」のメッセージが流れます。その後、「案内1メッセージ」を流し転送先を案内します。例えば「部」の番号案内が流れます。発呼者は、PB信号で希望の「部」の番号を入力します。

- ② 次に、本装置は「案内 2 メッセージ」を流します。例えば、「課」の番号案内が流れます。発呼者は、PB 信号で希望の「課」の番号を入力します。
- ③ 同様に「案内 3 メッセージ」を流します。発呼者は同様に PB 信号で番号を入力します。
- ④ 入力された信号を基に、本装置は疑似ダイヤルイン信号(またはフッキング動作による内線信号)を作り、PBX に出力します。
- ⑤ 転送先が話中や不在時は最大 3 箇所まで追っかけて転送ができます。(追っかけ転送機能)
- ⑥ 案内メッセージは最大 3 段階で、2 段階にすることもできます。

(3) ダイレクト転送モード

- ① ベル信号に応答すると「選択転送モード」と同様に、「挨拶メッセージ」、「総合案内メッセージ」が流れます。その後、「ダイレクト転送案内メッセージ」を流します。
- ② 発呼者は、PB 信号で転送先の内線番号等を入力します。
- ③ 入力された信号を本装置はダイヤルイン信号(またはフッキング動作による内線信号として)として PBX に出力します。

(4) 無条件転送モード

- ① NTT のボイスワープ機能の「無条件転送」を利用して本装置を介すことなく転送先に転送します。

(5) お待たせモード

- ① すぐに対応できない電話に対してあらかじめ設定したベル回数の後「お待たせ第 1 メッセージ」を流し、応対できるまで着信呼を保留します。本装置に接続された電話機や PBX には、本装置から継続してベル信号を流します。
- ② お待たせ中は、お客様にオルゴールや音楽を流します。また、お待たせ時間が長いと、お客様には別の「お待たせ第 2 メッセージ」を流します。

(6) 応答専用モード

- ① ベル信号に応答すると最初に「挨拶メッセージ」つづいて「応答専用案内メッセージ」が流れます。
- ② 「応答専用案内メッセージ」を指定回数流した後に「終了案内メッセージ」を流して回線を開放します。

(7) 待機モード

- ① 本装置の応答解除時にベル信号が来るとあらかじめ設定した転送先に転送します。

転送方式

本装置には次の 4 種類の転送方式があります。

(1) ボイスワープ転送

NTT のボイスワープ機能を利用した方法で、着信呼を特定の外線へ転送します。「無条件転送」と「応答後転送」があります。なお、この機能はINSボイスワープ・INS 回線のフレックスホンではご利用になれません。

①無条件転送

着信呼を、あらかじめ設定した電話番号(外線)へ無条件で転送します。本機は、着信呼には応答しません。

②応答後転送

1. 着信があると本機が応答し、転送先の案内メッセージを流します。流すメッセージは、内線転送と同様に、「選択転送モード」の場合は「挨拶」「総合案内」「選択転送案内」の各メッセージ、「ツリー

転送モード」の場合は「挨拶」「総合案内」「案内 1」「案内 2」「案内 3」のメッセージ、「ダイレクト転送モード」の場合は「挨拶」「総合案内」「ダイレクト案内」を流します。

2. 発呼者はメッセージを基に転送先の番号を PB 信号で入力します。
3. 本機は、入力された番号を基に、該当の外線へ転送します。

(2) ダイヤルイン転送

PBX に対して PB ダイヤルイン信号またはモデムダイヤルイン信号を利用した方法で着信呼を転送します。

(3) フッキング転送

PBX の内線に接続し、PBX のフッキング機能を利用した方法で着信呼を転送します。

(4) ベルのみ

PBX に対して一般アナログ回線と同等のベル信号を流します。

録音機能

回線に流すメッセージや保留音をメッセージ用のメモリーカードに書き込みます。

(1) 録音方法

- ・本装置でのマイク、テープによる手動録音。(メモリーカードに書き込みます)
- ・制御用パソコンの音声作成ツールにて「音声合成で作成したメッセージ」「手動録音したメッセージ」「wave ファイルを取り込んだメッセージ」をメモリーカードに書き込みます。

(2) メッセージ数

249ch

(3) 録音時間

60 分

年間タイマー機能

あらかじめプログラムしておくことにより、年間を通して自動的に各動作モードを切替えることができます。

- (1) 1日の動作状況を「曜日スケジュール」へ曜日ごとに登録します。
- (2) 各祝日の動作状況を「祝日スケジュール」に登録します。
- (3) その日だけの運用や毎年同じ月日の運用などの特定日ごとの動作状況を「特定日スケジュール」に登録します。

集計機能

本装置でカウントした着信件数や応答転送件数などを下記時間別に集計することができます。

- (1) 時間計…………… 1 時間の合計
- (2) 日計 …………… 1 日の合計
- (3) 週計…………… 1 週間の合計
- (4) 月計…………… 1 ヶ月の合計

上記集計データは付属の登録・集計用メモリーカードまたは LAN 経由で制御用パソコンに Excel 形式で保存ができます。

制御用パソコンの機能

付属のデータ入力ソフトをインストールすることにより下記操作ができます。

(1) データ登録

本体初期設定、転送先電話番号、動作モード、年間タイマーなどの各データ登録ができます。

(2) 登録データの読み書き

作成したデータの登録・集計用メモリーカードへの書き込み、本装置のデータを登録・集計用メモリーカードから読み込みができます。

登録・集計用メモリーカードの読み書きは付属のカードライトアダプタ(CWA-100)を使用します。

(3) 集計データの読み込み

登録・集計用メモリーカードより集計データを読み込むことができます。

読み込んだデータはExcelファイルに自動変換します。

(4) メッセージカードの編集

メッセージ用メモリーカードに対して下記操作ができます。

- ① 制御用パソコン上でメッセージの再生
- ② 制御用パソコン上に手動録音したメッセージのバックアップ
- ③ 音声合成によるメッセージの作成
- ④ 「音声合成で作成したメッセージ」「手動録音したメッセージ」「音声ファイル(wave)を取り込んだメッセージ」の書き込み
- ⑤ 別のメッセージ用メモリーカードに一括コピー

メッセージ用メモリーカードの読み書きは付属のカードライトアダプタ(CWA-100)を使用します。

LAN 接続時の機能

本装置と制御用パソコンを LAN に接続することにより下記操作ができます。

(1) 登録データの読み書き

制御用パソコン上で作成した登録データの本装置への読み書き

(2) 集計データの読み込み

本装置でカウントした着信件数や応答転送件数などを制御用パソコンからの操作で収集ができます。

集計データの収集は手動と自動の2種類があります。

(3) 動作モニター

本装置の動作状況を制御用パソコンの画面上にリアルタイム表示します。

(4) 応答・タイマーのセット／解除

制御用パソコンから応答のセット／解除、タイマーのセット／解除ができます。

(5) マニュアル動作時の動作モードの変更

本装置の動作モードを制御用パソコンよりマニュアルで変更ができます。

外部からの応答セット

本装置後部の「外部制御接続端子」に、接点ロック式のスイッチを接続し本装置の動作をコントロールすることができます。

- (1) スイッチを ON にするとあらかじめセットしてある応答のモードで動作を開始します。
- (2) スイッチを OFF にすると、動作を終了します。

時刻の自動修正

本装置後部の「時刻修正接続(IN)端子」に無電圧マーク信号(ワンショットパルス信号)を入力することにより、本装置内蔵時計の「0 秒あわせ」ができます。接点が ON になると、内蔵時計が「0 秒」になります。修正方法として以下の 2 方式が選択できます。

- ① ±10 秒: 毎分 0 秒±10 秒の間に信号があると、0 秒に修正します。
- ② ±30 秒: 毎分 0~29 秒の間に信号があると 0 秒に戻し、毎分 30~59 秒の間に信号があると 1 分先の 0 秒に進めます。

アラーム端子

本装置がアラーム状態になった時と、電源が供給されない時にアラーム端子より無電圧マーク信号(またはブレイク信号)を出力します。

離れた場所でアラームの監視をすることができます。

主な仕様

電話回線	LINE 側収容可能回線	一般アナログ電話回線(ナンバーディスプレイサービス対応)
	TEL 側シミュレーター	アナログダイヤルイン回線(ナンバーディスプレイサービス対応) ダイヤルイン情報を「PB 信号で送る」 / 「MODEM 信号で送る」の いずれの方式にも対応
	収容回線数	6 回線(初実装、最大 24 回線)
	直流抵抗	約 272 Ω
	録音・再生	録音媒体
	サンプリング周波数	8kHz
	サンプリング方式	μ-Law
	メッセージ数	249ch
	録音時間	60 分(メモリーカード JFC-60M)
	マイク入力端子	600 Ω 不平衡、-55dBm、3.5mm ジャック
	テープ入力端子	50k Ω 不平衡、0dBm、3.5mm ジャック
制御入出力	アラーム接続端子	無電圧マーク/ブレイク接点出力、接点容量:DC30V,500mA 以下
	時刻修正接続端子(OUT)	無電圧マーク/ブレイク接点出力、接点容量:DC30V,500mA 以下
	外部制御接続端子	無電圧マーク接点入力、接点容量:DC10V, 10mA 最小 ON 時間:0.2 秒以上

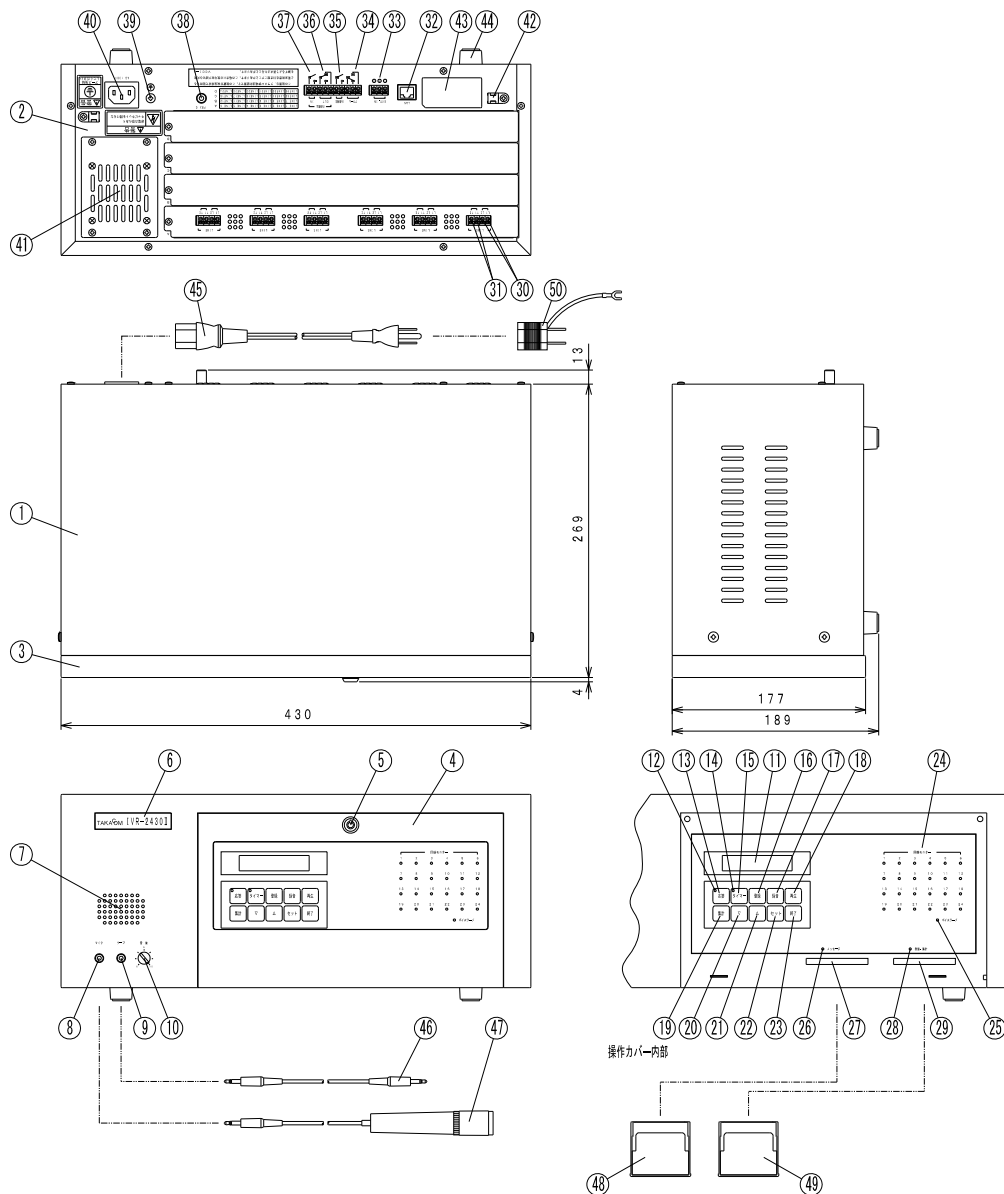
	時刻修正接続端子(IN)……………無電圧メーク接点入力、接点容量:DC10V, 10mA 最小ON時間:0.2 秒以上
	LAN 接続端子……………TCP/IP、10BASE-T/100BASE-TX
転送先	転送先登録数……………最大 100 (全転送モードで共通使用) 選択転送モード転送先数……………最大 10 (1パターンあたり、追っかけ転送を含まず) ツリー転送モード転送先数……………最大 730 (1パターンあたり、追っかけ転送を含まず) ダイレクト転送モード転送先数…選択番号桁数による (最大 8 桁) お待たせモード転送先数……………最大 1 (追っかけ転送を含まず)
タイマースケジュール	1 日内のステップ数……………30 ステップ 祝日スケジュールの数……………国民の祝日 16 日、国民の休日 1 日、予備 8 日 特定日スケジュールの数……………22 種類
主なメッセージの種類	挨拶……………1 種類 総合案内……………1 種類 選択転送案内……………20 種類 ツリー案内1……………2 種類 ツリー案内2……………18 種類 ツリー案内3……………162 種類 ダイレクト転送案内……………1 種類 お待たせ案内……………2 種類 応答専用案内……………10 種類
環境条件	動作時……………温度条件:5~40℃、湿度条件:20~85%、結露なきこと 保管時……………温度条件:-10~50℃、湿度条件:20~85%、結露なきこと
電源	電源電圧……………AC100V ± 10V、50/60Hz 消費電力……………最大 140W 定格入力電流……………約 1.9A 最大所要電力……………約 190VA
外形	寸法……………430(幅) × 286(奥行) × 177(高さ) mm (突起部を含む、ゴム足を除く) 重量……………約 11kg
その他	停電時の時計バックアップ……………10 日間 VCCI……………クラス A RoHS 指令……………適合 データ入力ソフト対応 OS……………Windows 10/8.1/7 SP1 日本語版 ソフトウェア……………Microsoft Excel 2016/2013/2010/2007 (着信応答データの集計/確認に使用します)

※商品名は、各社の商標または登録商標です。

添付品

フラッシュメモリーカード	2枚 (JFC-60M、KFC-60M)
カードライトアダプタ CWA-100	1個 (USBケーブル付)
IVR-2430 II データ入カソフト (DVD-R)	1枚
マイク	1本
テープレコーダ接続コード	1本
鍵	2個 (操作カバー用)
電源コード	1本
電源プラグ変換アダプタ	1個
結束バンド	2本
取扱説明書 (保証書)	1式

外觀図



番号	名称	番号	名称	番号	名称
1	本体カバー	18	再生ボタン	35	外部制御端子
2	本体ケース	19	集計ボタン	36	時刻修正端子(OUT)
3	フロントカバー	20	▽(ダウン)ボタン	37	時刻修正端子(IN)
4	操作カバー	21	△(アップ)ボタン	38	接地端子(PBX G)
5	鍵	22	セットボタン	39	接地端子
6	商品ネーム	23	終了ボタン	40	AC電源コネクタ
7	スピーカ	24	回線モニターランプ	41	ファン
8	マイクジャック	25	ボイスワーブルランプ	42	コード止め具
9	テープジャック	26	メッセージ用メモリーカードアクセスランプ	43	銘板
10	音量ボリューム	27	メッセージ用メモリーカード挿入口	44	ブラフット
11	ディスプレイ	28	登録・集計用メモリーカードアクセスランプ	45	電源コード
12	応答ランプ	29	登録・集計用メモリーカード挿入口	46	テープレコーダ接続コード
13	応答ボタン	30	回線 L 端子	47	マイク
14	タイマーランプ	31	回線 T 端子	48	メッセージ用メモリーカード (JFC)
15	タイマーボタン	32	LANコネクタ	49	登録・集計用メモリーカード (KFC)
16	登録ボタン	33	EXT. IN 端子	50	3P-2P 変換アダプタ
17	録音ボタン	34	アラーム端子		